

事務事業マネジメントシート (兼) 予算編成資料・実施計画資料

Main header table containing project name (青少年育成カウンセラー設置事業), policy (個性と文化を育む都市づくり), budget items (会計 01 一般 10 04 03 030 16), and fiscal year (15年度).

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

Table for activity and objectives. Includes '24年度活動実績' (青少年健全育成のための地区民会議の運営) and '25年度活動予定'. Objectives include '青少年の健全育成'.

Table for indicators. Includes '⑤ 活動指標' (青少年に関する会議等の開催数), '⑥ 対象指標' (人口), '⑦ 成果指標' (参加者数), and '⑧ 上位成果指標' (満足度調査).

(2) 事業費・指標の推移

Large table showing cost and indicator trends from 2023 to 2028. Columns include '23年度 (決算・実績)', '24年度 (決算見込・実績)', '25年度 (予算・目標)', '26年度 (次年度計画・目標)', '27年度 (計画・目標)', '28年度 (計画・目標)', and '最終年度 (トータルコスト・目標)'. Rows include '事業費' (国庫支出金, 県支出金, etc.) and '指標' (活動, 対象, 成果, 上位成果).

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

Table for context and opinions. Q1: 'この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?' (1969年). Q2: '事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか?' (合併後に、芦安に一人追加され6人体制となった). Q3: '事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?' (特になし).

(4) 改革改善の取り組み状況

Table for reform and improvement. Q1: '改革改善の取り組み実施は?' (取り組みしている). Q2: 'これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)' (毎週火曜日に定例会を開催し...). Q3: 'H 24年度に実施した改革改善の内容' (教育委員会に3人(榊形、若草、甲西)...).

事務事業名	青少年育成カウンセラー設置事業	所属部	教育委員会	所属課	生涯学習課
-------	-----------------	-----	-------	-----	-------

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由↓】 カウンセラーを中心に各地区民会議単位に、青少年健全育成のため尽力している
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPO、市民協働に移行することは可能か？	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由↓】 カウンセラーの業務は地区民会議の運営が主な業務となっている。この業務の見直し・分担ができれば見直し余地はある。 事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。 <input type="checkbox"/> 民間・NPO <input type="checkbox"/> 市民協働
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由↓】 地区民会議の中のスタッフがカウンセラーの行っている業務をどのくらい分担できるかが問題になるが、地域間のばらつきがあるものの維持継続は必要と考える。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 今後さらに事務事業の成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input type="checkbox"/> かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由↓】 平成24年度においてカウンセラーは6名から5名体制となり、地区民会議の事務担当者等しっかり整備していないと現状では厳しいものがある。
	⑤ 類似事業との統合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることができるか？	<input type="checkbox"/> 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入↓) <input type="checkbox"/> 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 <input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がない
	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 影響なし <input type="checkbox"/> 休止・廃止ができる <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 青少年の健全育成(子どもクラブ、育成会)活動の活性化が同左 停滞する。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 現在は、芦安、八田地区のみ事務所を別に構えているが1箇所集うことにより、事務事業の省力化、協調性による成果が期待できる。
	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方を見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 カウンセラー業務を地区民会議担当で分担できれば人数の削減はできるのではないかと。
公平性 評価	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由↓】 公平に全地区の業務を分担している。

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	すでに合併後8年経過し、青少年育成事業においても6地区の考えから徐々に段階的に統合することも必要である。カウンセラーの任期切れの時期に伴い人数・担当地域の見直しを検討する。H23年度は見直し計画の作成を行い、その計画に従い2～3年スパンでの見直し実施を行う。 カウンセラー事業の統合 ・青少年カウンセラー設置(12394 この事業 H22/7, 560 人件費) ・県カウンセラー会(12395 H22/42 法令外負担金 030-17から分割) ・峡中地区青少年カウンセラー会(12396 その他負担金 030-17から分割)

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																					
<input type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) <input checked="" type="checkbox"/> 事業統合・連携(有効性⑤の結果) <input type="checkbox"/> 公平性改善(公平性⑨の結果) <input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 成果向上(有効性④の結果) <input type="checkbox"/> 現状維持(全評価項目で適切) <input type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減(効率性⑦、⑧の結果)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト水準</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果水準</th> <th>向上</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table> ※ 廃止・休止の場合は記入不要			コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	維持	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
				コスト水準																		
		削減	維持	増加																		
成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	維持	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
(2) 改革改善案について	(5) 事務事業優先度評価結果																					
① 担当地区の見直し(地域の統合に伴うカウンセラー減員) ② 現在3箇所あるカウンセラーの事務所を1箇所にとどめる。 ③ カウンセラーの仕事内容で「相談業務」があるが、不登校の子どものための指導者と連携を取るなどして、更に充実させていきたい。またカウンセラーの業務を市民に周知をしていきたい。	<table border="1"> <tr> <td>成果優先度評価結果</td> <td>②</td> </tr> <tr> <td>コスト削減優先度評価結果</td> <td>④</td> </tr> </table>	成果優先度評価結果	②	コスト削減優先度評価結果	④																	
成果優先度評価結果	②																					
コスト削減優先度評価結果	④																					
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策																						
① カウンセラーとの協議 ② カウンセラー業務の分担 ③																						